ななはた探訪だより

第２７号
２０１２年１月
四熊事務局

新しい年の出発！！

昨年は想定しえない東日本大震災が起き、ひとごとではない悲しみや苦しみに包まれた一年でした。まだまだ地球全体がその危機にさらされています。私たちは今どのように生きていけばいいのか。どうあらねばならないのか、考えることの多い毎日です。今をどう生きるのかと自問自答しても万人に通用する回答はありません。「わが生に限りあり。しかるに知に限りなし。限りある露のような身で、限りない知を求めて。」「危ない。危ない。少し欲をけずりたい。」「欲は何でもかでも半分くらいにしてみたい。」

作家　水上勉

「そうだ、泣いても笑っても一日は一日だ。先々のことは天にまかせて、笑ってがんばろう。」

「年を知り、我を知り、生を知る。」

棚田に生きる白鷺たち

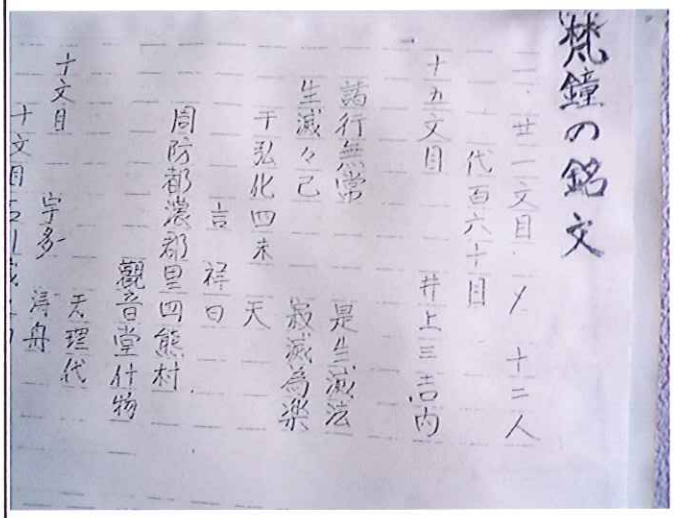
今年はたつ年どんな年？

暦辞典より・・・・・

気位が高くて勝気なため、困難なことによく耐える。気短で、思慮分別なく猪突猛進して以外な失敗を招くことがある。生来慈善心に富んでいるので、精進すると晩年に良運を獲得することができる。

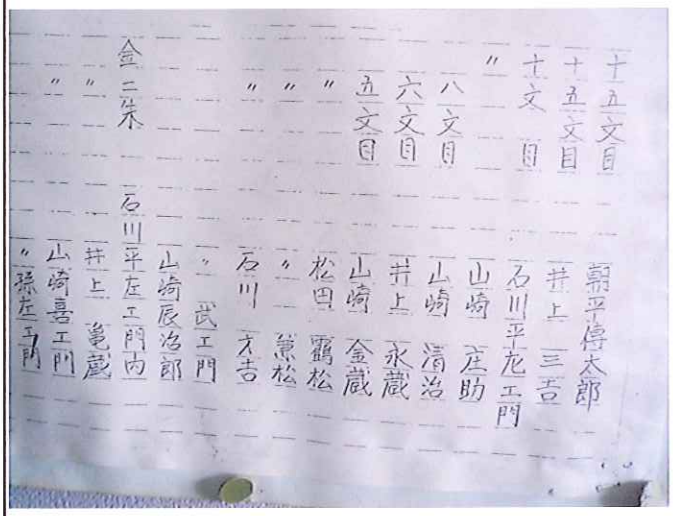
竜飛・竜が飛ぶ事から天子が位につくこと。

四熊小学校にある梵鐘について



梵鐘の銘文

廿一文目　丿　十二人
代百六十目　井上三吉内
十五文目
諸行無常　是生滅法
生滅々已　寂滅為楽
千弘化四未　天
吉　祥日
周防都濃郡皇四熊村
観音堂什物
十文目　宇多　天理代
清舟
十文目



十五文目　朝平停太郎
十五文目　井上　三吉
十文　目　石川平左エ門
〃　山崎　庄助
八文目　山崎　清治
六文目　井上　永蔵
五文目　山崎　金蔵
〃　松田　鶴松
〃　〃　熊松
〃　石川　文吉
〃　〃　武エ門
山崎辰治郎
金二朱　石川平左エ門内
〃　井上　竜蔵
〃　山崎喜エ門
〃　孫左エ門

大切な梵鐘ですが、何時頃から四熊小学校に置かれるようになったのか、何に使われていたのか。ご存知の方がおられましたら、教えていただきたいとおもいます。知らないことがまだまだたくさんあります。よろしくお願いします。